

## 講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

### 【講師派遣お申込み手順】

1. 高野山大学公式ホームページの[大学案内]「講師派遣」から、「講師派遣依頼フォーム」より、必要事項(ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマ等)を記載の上お申し込みください。
2. 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。  
※「講師派遣依頼書」を提出していただく場合もあります。

### 【注意事項】

1. 講演料(手取り額)  
60分 ¥20,000  
90分 ¥30,000  
※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。
2. 交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)。
3. 講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
4. 大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。  
※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。

<http://www.koyasan-n.ac.jp/info/dispatch>



こちらのQRコードからもアクセスできます。>>

## 寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や学習・就職支援室の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は

- 大学との設備・備品費などの諸経費
  - 地域との連携事業の経費
  - 学習・就職支援室の活動費
- などに用いさせていただきます。

高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、「魅力ある大学づくり」をキーワードにこれからも様々な教育改革に取り組んでまいります。

皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援をこころよりお願い申し上げます。

この趣旨に賛同していただける方は、お手数をおかけいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。

ご連絡をいただきました方には、大学から、

- 寄付申込書
  - 寄付金用振替用紙
  - 返信用封筒
- をお送りさせていただきます。なお寄付金は、一口2,000円以上とさせていただきます。

皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

### 【ご注意】

今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用下さい。



高野山大学文学部  
人間学科心理ケアコース/密教学科  
社会人3年次編入

# なんばで学ぶ。 心理ケアと真言密教

 **高野山大学**  
Koyasan University

〒648-0280  
和歌山県伊都郡高野町高野山385  
TEL:0736-56-2921 FAX:0736-56-2746

難波サテライト教室  
〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-10-4  
南海野村ビル7階 TEL:06-4301-7843

### ＝ 特 徴 ＝

人間学科心理ケアコース (社会人3年次編入)	密教学科 (社会人3年次編入)
●生と死、ケアとはなにかを学べる	●密教・仏教の世界を学ぶ
●他業界の仲間たちと学べる	●自身の死生観を問い直す
●生活スタイルに合わせた講義 (昼間と夜間に開講)	●瞑想などを 僧侶からの講義で学べる
●取得可能資格 ・認定心理士 ・スピリチュアルケア師	●自分のペースで学べる
●南海なんば駅徒歩3分	
●返還不要の給付型奨学金制度	
●長期履修制度あり	

## 2021年度 入学試験日程(文学部)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00~15:00)。

入試種別	出願期間	試験日	合格発表	手続期間
総合型選抜入試Ⅰ期	2020年9/18(金)~10/9(金)消印有効 事前説明会申込7/1(水)~8/31(月)	10/24(土)	11/2(月)	11/2(月)~11/16(月)
総合型選抜入試Ⅱ期	2020年11/9(月)~11/24(火)消印有効 事前説明会申込9/1(火)~11/6(金)	12/5(土)	12/11(金)	12/11(金)~12/25(金)
学校推薦型選抜入試(併設校)	2020年11/2(月)~11/19(木)必着	11/28(土)	12/4(金)	12/4(金)~12/18(金)
学校推薦型選抜入試(指定校)	2020年11/2(月)~11/18(水)消印有効	11/28(土)	12/4(金)	12/4(金)~12/18(金)
一般選抜入試(前期)	2021年1/7(木)~1/25(月)消印有効	2/5(金)	2/12(金)	2/12(金)~2/26(金)
一般選抜入試(後期)	2021年2/15(月)~3/5(金)必着 窓口受付は3月5日(金)午後4時まで	3/13(土)	3/17(水)	3/17(水)~3/26(金) 平日窓口手続可
社会人入試	2021年1/7(木)~1/25(月)消印有効	2/5(金)	2/12(金)	2/12(金)~2/26(金)
留学生・留学生編入学 入試Ⅰ期	2020年11/9(月)~11/24(火)消印有効	12/5(土)	12/11(金)	12/11(金)~12/25(金)
留学生・留学生編入学 入試Ⅱ期	2021年1/7(木)~1/25(月)消印有効	2/12(金)	2/19(金)	2/19(金)~3/12(金)

## 入学試験日程(編入学)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00~15:00)。

入試種別	出願期間	試験日	合格発表	手続期間
3年編入社会人編入(前期)	2020年11/9(月)~11/24(火)消印有効	本学 12/5(土) 難波サテライト 12/6(日)	12/11(金)	12/11(金)~12/25(金)
3年編入社会人編入(後期)	2021年2/15(月)~3/5(金)必着 窓口受付は3月5日(金)午後4時まで	本学 3/13(土) 難波サテライト 3/13(土)	3/17(水)	3/17(水)~3/26(金) 平日窓口手続可

## 入学試験日程(別科)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00~15:00)。

入試種別	出願期間	試験日	合格発表	手続期間
I 期	2020年11/9(月)~11/24(火)消印有効	12/5(土)	12/11(金)	12/11(金)~12/25(金)
II 期	2021年2/15(月)~3/5(金)必着 窓口受付は3月5日(金)午後4時まで	3/13(土)	3/17(水)	3/17(水)~3/26(金) 平日窓口手続可

KOYASAN UNIVERSITY

高野山大学

www.koyasan-u.ac.jp

まかびるしゃなによらい  
「マハー・ヴァイローチャナ」とは大日如来(摩訶毘盧遮那如来)という意味です。

Vol.  
82

高野山大学 学報

2020.7.1発行

マハー・ヴァイローチャナ

Mahā Vairocana



## 学長挨拶



高野山大学 学長  
乾 龍仁

から、五月末までの不要不急の外出自粛要請を受け、五月七日から四週間にわたる遠隔授業を実施することに決定しました。

新型コロナウイルス感染拡大が漸く落ち着き、全国を対象にした緊急事態宣言も解除され、それに伴い各種事業別の休業要請も緩和されました。とは言え、その後も感染報告があり、さらに第二波、第三波に対する注意喚起もされるなど、今後も予断を許しません。

新型コロナウイルスに関する情報が最初に出たのは昨年末でした。本学では二月に入って毎週定期的に危機管理委員会を開いてきました。そして二月下旬から三月にかけて予定されていた諸行事の変更・延期あるいは中止等を決定しました。そのため卒業式や入学式も規模を縮小して実施することにしました。さらに政府の緊急事態宣言を受けて対面授業の開始を五月七日に延期し、その間は課題研究を出すなどに対応するようにしました。しかし四月に入り国内情勢が悪化したこと

この間、常勤・非常勤の教員の皆さんには、不慣れたオンライン授業の対応でたいへんご苦労をお掛けしました。また遠隔授業を実施するために、総務課・教務課・学生サポート課等の職員の皆さんには、教員や学生への連絡、パソコンの技術的な相談など、様々な案件に取り組んでいただき感謝に堪えません。とりわけ学生諸氏には、新学期の開始時期が遠隔授業となりたいへん不便を掛けることになりました。中にはスマホだけの対応で、十分な環境を整えられない学生もいるとの報告もあり、そこで五月はじめの会議において全通学生(学部生・大学院生・別科生)に学修環境を整備してもらうため緊急支援(一律五万円)を行うことを決めました。この支援金には数年前に本学園理事長の添田隆昭事務総長を通じてご寄付いただいた故山添亀法師(和歌山市・二休院前庵主)の基金をもつて充当することになり、そのため「山添亀法学修環境整備奨学金」という名称を用いさせていただきます。

そして五月下旬になり、毎日報道される感染数も漸く落ち着きははじめ、二十五日には残されていた都三県道

に対しても緊急事態の解除が宣言されました。そこで、本学でも六月四日から対面授業を部分的に開始することにし、対面授業に不安を持つ学生や教員、まだ来日できないでいる留学生等がいることを考え、遠隔授業を併用して対応することにしました。感染防止には和歌山県のガイドラインを参考にして準備を進めていくこととなりましたが、実際のところ大学の休業実施よりも対面授業を開始することの方が難しいことも分かってきました。教室等の館内でソーシャルディスタンスを保つ必要のあること、安全対策のために必要な物品が不足し調達しがたい状況にあること、またそのための資金が予想外に掛かるなど、考え出すと次から次へと課題が噴出してきます。

いずれにせよ、学生の教育を受ける権利をどのように保証していくか、また遅れた学修内容をどのように補填していくか、今後も学内でよく議論を進めて、あるべき姿を模索していきたいと考えています。令和という元号に象徴されるように、教職員・学生が一緒になつて心を寄せ合い、力を合わせて、明日への希望を咲かせるよう努めたいと思います。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

## INDEX

02 学長挨拶

03 Topix  
密教学芸賞受賞  
教育学科設置認可  
申請受理

04 Report  
新型コロナウイルス感染症  
への取り組み  
リモート授業レポート

06 大学通信

07 計報・日録・宗教行事・  
寄付金御礼

08 お知らせ・入試情報

表紙 高野山大学図書館



## 高野山大学名誉教授山陰加春夫先生 密教学芸賞受賞

### 第57回密教学芸賞受賞

第57回密教学芸賞を総本山金剛峯寺推薦により山陰加春夫本学名誉教授が受賞されました。

それにあわせて、真言宗各派総大本山会主催で令和元年11月13日、各山山主や常任委員ら臨席のもと「第57回密教学芸賞」と「第51回密教化賞」の授賞式が総本山金剛峯寺で開催されました。

主催者を代表して、真言宗長者の田代弘興長谷寺化主猊下より各受賞者に賞状と記念品が贈呈され、併せてお祝いの言葉が述べられました。

続いて授賞式の会場となった総本山金剛峯寺を代表して、葛西光義座主猊下より祝辞が述べられ、さらに各山会常任委員の松村隆誉総本山西大寺執事長、布教連盟常任理事の高麗行真総本山智積院教学部長からもそれぞれ祝辞が述べられました。

密教学芸賞は真言宗各派本山から密教に関する学術研究で特に功労があった方に授与されるものです。



山陰先生は1951年生まれ。本学の図書館長や高野山霊宝館副館長等の重責も務められました。専門は、日本中世の荘園経済史の研究、特に高野山周辺の荘園の研究で、各地方の町史や村史の研究にも参画されています。『中世高野山史の研究』により大阪市立大学から博士号を受け、本学の密教学術奨励賞(門戸厄神賞)を二度受賞されています。今後も変わらず先生のご活躍をお祈り申し上げます。

### 私立大学研究ブランディング事業

文科省の助成を受けて取り組んできましたブランディング事業は、令和2年3月をもって一旦区切りを付けることになりました。今後は(株)フジキン様より寄せられた助成金を基本資金にして、本学が所蔵する資料を中心に広く研究者等に提供できるよう事業を継続していく予定です。

今回、密教学芸賞を受賞された山陰先生にはブランディング事業でも何かとご助力いただいております。

昨年10月6日難波サテライト教室で行われた「高野山研究における古絵図資料の可能性とその活用」をテーマにした同事業の記念講演会でも、先生には「高野山の聖たち―高野山一院院谷の場合―」と題してご講演いただきました。

## 教育学科設置認可申請受理

### 教育学科設置認可申請受理

高野山大学は大阪府河内長野市千代田短期大学内に令和3年4月の開設を目指して、文部科学省に文学部教育学科の設置認可申請を提出し、申請が受理されました。

現在設置されている文学部人間学科を新たに教育学科として改組し、教育や保育の現場で活躍しうる実践力や人間力、地域の安心・安全や活性化に貢献しうる人材の育成を目指します。

教育学科では、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、保育士資格が取得可能です。

### カリキュラムは、学内講義と共に、教育現場や地域での体験学習を軸に構成

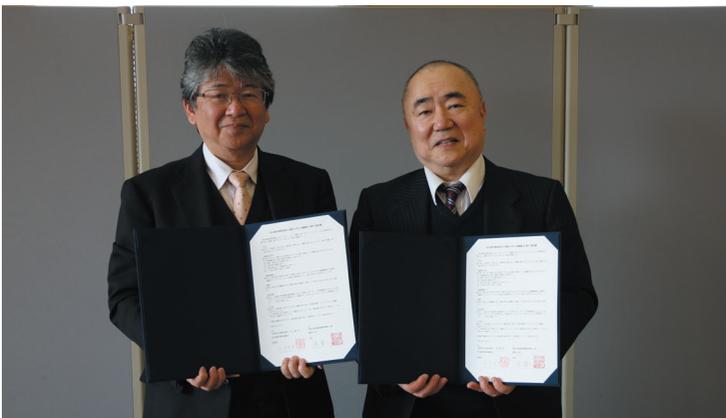
教育現場だけでなく「地域体験学習」も、1年次から必修科目として実施。丸1日を体験学習とする日本で初の試みです。

こうした体験学習と教職科目などの専門の講義、両者をむすぶ「体験サポート科目」、建学の精神に則った本学の特徴的な科目や教養科目、僧侶科目などを配し、「いのち」や、社会、文化について理解し、教師に必要な力を培います。

### 河内長野市教育委員会との連携

令和2年3月2日、高野山大学と河内長野市教育委員会は連携協力に関する協定を締結しました。今後は学校教育分野において教員の資質向上や教育研究に関する連携を行います。

また生涯学習分野においては生涯学習の振興や教育を通じた地域活性化に関する連携を行い、教育現場の活性化を図ります。



## 新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

### 新型コロナウイルス感染拡大

令和2年1月16日、日本で初めての感染者が発生した新型コロナウイルス感染症は、そのわずか約3か月後の4月18日に国内感染者数は1万人を超えました。

5月末現在でも感染拡大の速度はゆるやかになりつつありますが、全国で1万6千人の感染者を数えています。本学でも、この感染拡大を受け、さまざまな事態に対応してまいりました。

### 危機管理委員会の開催

令和2年2月17日、新型コロナウイルス感染拡大に対応するため、危機管理委員会を開催することが決定しました。

この危機管理委員会は適宜開催され、全国および和歌山県の感染状況を確認しながら、学生および教職員の安全と健康の維持に努めています。

危機管理委員会では、難波連続講座の中止、遠隔授業の開始、対面授業の方法、山添亀法学修環境整備奨学金の支給、留学生への対応、施設利用の確認など多岐にわたる課題の対策にあたっています。

また、本学公式ホームページでも適宜周知を行っています。

### 全学生にメールアドレスを発行

オンライン授業での課題提出や、ミーティングアプリ使用に対応するため、令和2年度から全学生に高野山大学ドメインメールアドレスを発行いたしました。各学生に運用マニュアルを配布し、安全に運用していただくよう周知しました。

今後、Zoomやオンラインを使用した就職活動やレポート提出にも利用できます。

また、本学と学生の連絡が容易に行えるようになり、学生の利便性が大きく向上しました。

### 図書館利用制限

6月4日(木)より学外者の図書館利用を可能としましたが、利用制限貸出・返却・複写のみ利用可、土曜日・日曜日閉館は継続しています。

通常開館は6月19日(金)を予定しています。※変更の可能性があります。



### 山添亀法学修環境整備奨学金の支給

令和2年5月11日、本学では、全通学生(学部生・大学院生・別科生)に学修環境整備のための奨学金を支給することいたしました。

インターネット環境や機器の確保、アルバイト収入の減少など、学修や学生生活に不安を抱える学生に学修環境を整えていただき、安心して授業を受講していただくための奨学金です。

同奨学金は、故山添亀法様(和歌山市一休院前庵主)からご寄付いただいた基金を基にいたしております。

支給方法については学資出資者にご案内を行い、6月上旬ごろ支給の予定です。

### 対面授業開始に向けて

緊急事態宣言が解除された5月18日以降は、学生・教職員に限り構内の立ち入りが許可されました。

入構の際には事前の検温の実施、消毒液での手指消毒を励行しました。

受付窓口の透明ビニールシートでの保護、食堂では座席数を減らし、お茶、ドレッシングの共用の中止、はし、スプーンなど食器類の手渡しとこまめな消毒を行っています。また授業終了ごとに換気・清掃作業を行っています。

6月4日より対面授業を再開いたします。①2時間連続で教室を使用しない②座席を離す③従来の教室より広い教室を使用するなどの対策を行い、安全を確保したうえで対面授業を行います。

### オープンキャンパス

高野山キャンパスでの開催に関して、遠方からの参加が難しい情勢を踏まえ、6月21日(日)から開始されるオープンキャンパスはオンライン開催を行いました。

動画での大学紹介とともに、Zoomを利用した個別相談やL2D5Eを利用した相談会など、生徒の皆様が安心して参加できるよう各部署が対応いたしました。

詳しくは高野山大学ホームページ特設サイトおよびQRコードをご確認ください。

高野山大学オープンキャンパス(予定)  
令和2年6月21日(日)  
令和2年7月19日(日)  
令和2年8月30日(日)

**WEB OPEN CAMPUS**  
高野山大学 特設サイト

文学部 密教学科 2020年6/21  
教育学科

参加自由(事前予約制)  
時間 13:00~17:00  
定員 5/17名(先着順)

WEBで高野山大学を知ろう!  
高野山大学は、和歌山県唯一の私立総合大学。学問・実務・国際・スポーツ・芸術・文化の分野で、幅広い専門分野を有し、社会に貢献する人材を育成しています。

WEBで高野山大学を知ろう!  
高野山大学は、和歌山県唯一の私立総合大学。学問・実務・国際・スポーツ・芸術・文化の分野で、幅広い専門分野を有し、社会に貢献する人材を育成しています。

2020 Open Campus  
高野山キャンパス 7/19 8/30  
高野山キャンパス 10/18 1/17 2/7

0736-56-2921  
http://www.kyushu-u.ac.jp



## リモート授業レポート



人間学科主任  
森本一彦 教授

新型コロナウイルス感染症の防止対策として、本学も6月上旬までは対面授業を行わず、リモート授業を実施しました。今年度から全学生にメールを付与したことで、リモート授業をスムーズに導入することができました。

学修管理システム(LMS)であるグーグル社のクラスルームで教材配布(プリントや録画授業など)、課題掲示・提出、コメント入力、小テストなどを実施し、Web会議システムのズームで授業をライブ配信しました。対面授業が再開しても、来日できない留学生や感染症の再流行への対応からリモート授業は継続せねばなりません。しかし、今回の経験は、大学人に対し

して教育の本質を考えさせるとともに、リモート授業と対面授業の組み合わせが教育効果を上げる可能性を持っていることに気付かせてくれました。本学は今後も理想の教育の実現に邁進したいと考えております。



リモート授業を行う乾学長



## 学位記授与式

多くの大学で卒業式が中止される中、規模の小さな大学であること、近隣に感染者が出ていないこと、何より、卒業生の皆様の節目となる行事であることを勘案し、規模を縮小し、令和2年3月15日第93回学位記授与式を開催いたしました。学部(密教学科19名、人間学科13名)計32名、別科(密教専修コース1名、スピリチュアルケアコース1名)計2名、大学院修士課程(通学4名、通信9名)計13名、および博士課程単位取得退学者1名、そして密教学の博士号取得者1名(合計49名)の方が卒業されました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ご来賓も葛西光義管長(現下)と添田隆昭宗務総長のみとさせていただきます。

また、通信生や難波サテライト教室、および保護者の方の来場は自粛していただき、会場でもソーシャルディスタンスを保ちながら、来場者の検温、マスクの配布および手指の消毒の徹底を行いました。



## 入学式

入学式も卒業式と同様、規模を縮小し、令和2年4月2日に開催いたしました。ご来賓は添田隆昭宗務総長のみといたしました。新入生総数は39名。文学部(密教学科12名、人間学科7名、密教学科3年次編入8名、人間学科3年次編入4名)、別科密教専修コース3名、大学院修士課程4名、博士後期課程1名、密教学科専攻通信教育課程24名でした。

入学式では乾龍仁学長が新型コロナウイルスの感染症による世の中の変化について、どのように対応するべきか、新入生の皆様に訓示されました。在学生を代表して熊谷圭晃さんが歓迎の言葉を述べ、それを受けて新入生代表の三毛門和希さんが「綜芸種智の教育理念を糧として人格の陶冶と学問の探求に精励努力することを誓う」と宣誓しました。新入生の皆様は緊張感の中にも入学した喜びを胸に新しい学校生活の第一歩を踏み出しました。



## 皇學館大學との連携協定

令和2年1月20日午後二時から大阪難波サテライト教室において、皇學館大學と高野山大學による「包括連携協定書」の調印式が行われました。本學から乾龍仁學長、森崎雅好准教授、皇學館大學から河野訓學長と岡野友彦文學部長、その他兩大學関係者が出席しました。調印式では、兩大學が連携協定を結ぶにいたった経緯及び趣旨についての説明があり、兩大學學長の挨拶が行われ、協定書への署名、協定書の交換が行われました。

現在、本學では皇學館大學の協力を得て、同大學において「宗教間対話実習」という授業を展開しており、兩大學の協力関係をより密にするために、今回、包括連携協定を結ぶにいたしました。

## 高野山真言宗北米開教区 シアトル高野山研修プログラム

令和2年2月27日金剛峯寺国際局・シアトル高野山・高野山大學の三者による「シアトル研修プログラムに関する覚書」の調印式が行われ、国際局から橋本真人局長、丹羽義寛課長、本學からは乾龍仁學長と佐藤隆彦副學長が出席しました。引き続き、辞令伝達式が行われ、橋本局長より今春研修生としてシアトル高野山に派遣される予定の木下淨雲さん(本學修士課程1回生)に辞令が渡されました。

なお、研修期間は40日間でしたが、その後新型コロナウイルスが世界中に感染拡大したことから、研修生の健康と安

全を考え、国際局との相談の下、急遽研修期間を短縮し、木下さんには3月12日に帰国していただきました。

## 土宜法龍院下未公開資料 大学寄贈

令和2年2月4日真言宗御室派管長、高野派管長を務められた故土宜法龍院下のご親族である浅野眞氏(元JAXA宇宙センター勤務)が来校され、同院下の未公開資料を本學にご寄贈いただきました。京都大學名誉教授で本學客員教授の高岡義寛先生(京都植ノ尾西明寺住職)の御仲介で、南方熊楠とご交友のあった同院下について研究されている本學の奥山直司教授に連絡があり、このたび本學図書館への寄贈が実現しました。

当日は本學から乾龍仁學長、奥山副學長、ドライトライン図書館長が出席し、學長から感謝状と記念品が贈呈されました。

## 難波サテライト教室 オープンキャンパス開催報告

令和2年1月19日、2月16日難波サテライト教室で社会人編入対象のオープンキャンパスを開催し、両日あわせて89名の方々にお越しいただきました。模擬講義では熱心にメモを取る方の姿が目立ち、終了後のアンケートでは、「密教のことがよく分かった」「来る以前に想像した以上に興味深くおもしろかった。」とのことでした。

今後も難波サテライト教室でのオー

プンキャンパスを継続していきます。今年度は令和2年10月18日、令和3年1月17日、2月7日に開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

## 春季集団加行

大學加行を真別処圓通律寺道場、専修学院尼僧部道場、男子は2月5日から3月31日まで、女子は2月10日から3月26日まで、各道場において春季集団加行を行いました。

伝授阿闍梨を真別処は添田隆昭和尚に、尼僧道場は酒井道淳門主にお勤め頂き、加行者は約50日間、僧房に住して修行に専心しました。

今期の加行者は、後期3名(大学院1回生1名、密教学科3回生2名(うち尼僧1名)でした。

これからも行法を重ね授かった法を薫習して行つて欲しいと思います。

## 新任教員挨拶



特任准教授  
川崎一洋(一洗)

幼少のころから憧れていた真言宗の僧侶になるため、小柄が高野山大學の門を叩いたのは平成5年のことでした。爾来、紫雲寮で4年間を過ごし、寺生活も10年ほど経験しました。その間、大

学院で博士号を取得し、現在は四国霊場の住職を務めております。

20数年に亙りインドやチベットの密教を研究してきましたが、最近ようやく、弘法大師さまのお気持ちがいささかつかつてくるようになりました。真言密教は三国伝燈の教え。それを理解するには、アジア各地の宗教や文化を学ばなければなりません。

小柄がこれまでに得た知識と経験を、学生の皆さんにできるだけ多くお伝えできよう、努めてまいりたいと思います。日常の暮らしやできごとにも照らし合わせながら、自分のためになる、他者のためになる密教を学ぼう。これが小柄のモットーです。



特任准教授  
テンジン・ウセル

本年度特任准教授となりましたテンジン・ウセルと申します。私は南インドのデブン寺ロセルリン大學で学び、ゲシエーの学位(博士の学位に相当)を取得しました。

2015年に研究生として本學に派遣され、初めの年は日本語を学び、その後は非常勤講師としてチベット語を教え、昨年度から難波サテライト教室で仏教とチベット語の授業を行っています。本年度から本校でも仏教とチベット語の授業を担当いたします。どうぞよろしく願います。

計報

日録

令和2年1月～令和2年6月

寄付金御礼

\*順不同

元学長 和多秀乘先生

本学名誉教授で元学長の和多秀乘先生（兵庫県西脇市西仙寺名誉住職）が、去る2月10日四大不調により御逝去されました。昭和3年10月6日に生まれ、享年93歳。同27年本学文学部仏教文学科を卒業後、同29年本学大学院文学研究科仏教専攻を修了、同34年大谷大学大学院仏教文化学科博士課程を単位取得退学。同36年本学文学部講師に就任後、助教を経て、同45年10月教授に昇進し、平成2年に定年を迎えるまで、四十数年にわたって後進の指導と育成に精励されました。またこの間、図書館長として貴重図書の間、寄託書の保存に努められ、平成5年4月第15代学長就任後は、故楠公誠学監（高野山光台院上綱）と共に研究室棟・体育館・武道場大ホールを新築して教育・研究並びに学生のための施設充実に努められました。専門は古代・中世の高野山史で、史料の厳密な分析によって近代高野山学の基礎を確立されました。昭和58年密教学芸賞、平成19年瑞宝中綬章。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



4月			3月			2月			1月			6月			5月														
30 木	29 水	21 火	20 月	10 金	5 日	4 土	3 金	2 木	25 水	20 金	15 日	5 木	26 水	24 月	23 日	17 月	16 日	13 木	11 火	3 月	31 金	30 木	20 月	19 日	13 月	10 金	6 月	1 水	
博士論文・研究課題提出期限	昭和の日	報恩日	前期授業開始 課題授業開始（～5月6日）	前期授業開始	受講科目提出期限	難波サテライト研修	導入研修・オリエンテーション	導入研修・オリエンテーション	入学式	学期末成績通知	春分の日	学位記授与式	卒業・修了者発表	卒業論文口述試問	振替休日	天皇誕生日	再試験日	オープンキャンパス難波⑦	成績通知	建国記念の日	春季休業開始	修士論文口述試問（通信課程）	修士論文口述試問	卒業論文提出期限	卒業論文提出期限	成人の日	修士論文提出期限	授業開始	元旦

令和2年度宗教行事

春季集団加行  
令和2年2月5日（水）～3月31日（火）  
女子  
令和2年2月10日（月）～3月26日（木）  
学園得度式 令和2年7月2日（木）  
受戒 令和2年7月13日（月）～15日（水）  
夏季集団加行  
令和2年8月18日（火）～10月6日（火）  
男子・真別処 女子・なし  
※専修学院受入中止のため  
伝法灌頂 令和2年11月上旬  
新型コロナウイルス感染拡大状況  
で日程の変更の可能性がります。

行事予定

第十五回フジキン小川修平記念講座講演会

【開催日時】令和2年10月30日（金） 12:30～16:00  
【会場】大阪梅田ナレッジキャピタル  
コングレコンベンションセンター1地下1階  
【講演1】高木神元先生（高野山大学名誉教授）  
「存在とコトバの深秘学」  
—井筒俊彦の空海論—  
【講演2】竹村牧男先生（前東洋大学学長 筑波大学名誉教授）  
「仏教における科学と哲学」  
【講演3】川中宣太先生（京都大学 白眉センター 特定准教授）  
「星の最期と第二の人生」  
【先着】未定 要事前予約  
※9月上旬ごろ公式HPにて受付開始する予定ですが、  
新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催を中止  
することもあります。HPを確認下さい。

恵光院 近藤 大玄様 五十万円  
鐘ヶ江 尊明様 五十万円  
川口 道雄様 五十万円  
家田 莊子様 十万円  
金蔵院様 五万円  
全国の皆様から寄付金を頂戴いたしましたことに心から感謝申し上げます。大学での教育・研究活動に有効に活用させていただきます。  
今後とも高野山大学に対して、引き続き皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。